

当社の通信子会社 InfiniVAN, Inc.がフィリピンの人口最大都市ケソン市のDX化に向けたオンラインの文書管理システム（Document Management System）を受注し、契約を締結

フィリピンで通信事業を営む当社連結子会社 InfiniVAN, Inc.（以下「InfiniVAN」という。）は、フィリピンの政府や自治体が行政の効率化に向けて進めているデジタルトランスフォーメーション（DX）に貢献するため、人工知能（AI）を使い、オンラインでエンドツーエンドの文書管理を可能とする Document Management System（以下「DMS」という。）の納入を目指してまいりました。この結果、ケソン市が実施した入札において、InfiniVAN の提案した DMS の受注が決まり、2024年6月25日に契約が完了いたしました。



ケソン市庁舎で発注の通知書を受領後。ケソン市の City Administrator、Michael Alimurung 氏（左から2人目）と、InfiniVAN の中原茂樹プレジデント（同3人目）

ケソン市は、人口が約300万人とフィリピンでも最大規模の、旧首都に当たります。フィリピンは、紙の文書による行政手続きの煩雑さや遅延等の社会課題を解決すべく、DX化の政策を国全体で推進しており、InfiniVAN の DMS が寄与できるものと考えております。ケソン市での受注を機に、他の政府機関や大型の約150都市等を主な対象とし、提供拡大を目指してまいります。

InfiniVAN においては、フィリピン国内海底ケーブルネットワーク (Philippine Domestic Submarine Cable Network、以下「PDSCN」という。) が昨年 12 月に完成しました。PDSCN を中心とする基幹網により、フィリピン全土に日本基準の安定した通信インフラサービスの提供が可能となったことを受け、そのアドバンテージを活かし、クラウドサービスや DX 化をフィリピン全土に展開いたします。InfiniVAN は、フィリピンにおける社会課題の解決に向け、引き続き、政府や自治体向けのサービス拡大を図ってまいります。

社名：株式会社アイ・ピー・エス

証券コード：4390

所在地：東京都中央区築地 4 丁目 1 番 1 号 東劇ビル 8 階

代表者：代表取締役 宮下 幸治

本件に関する問い合わせ窓口：IR 課 03-3549-7719